

資料3

2. 価格以外の評価点の算出方法 (200点)

評価分類	評価項目	評価基準	配点	備考	定量・定性区分	様式	
財務体質等	自己資本比率の状況	経営の安定度を評価			※計算に使用した証拠書類を提出 ※自己資本÷総資本×100	定量評価	様式4
		○20%以上	5点				
		○10%以上20%未満	3点				
		○0%超10%未満	2点				
	○0%	0点					
流動比率の状況	短期的な支払能力を評価			※計算に使用した証拠書類を提出 ※流動資産÷流動負債×100	定量評価	様式5	
	○150%以上	3点					
	○100%以上150%未満	2点					
○100%未満	0点						
経常利益の状況	総合的な成長を評価			※当期経常利益と前期経常利益を比較し、経常利益が増加しているかで判断 ※3ヶ年の状況で評価 ※当期経常利益が赤字の場合は、向上としない。 ※経常利益の証拠書類を提出	定量評価	様式6	
	○3ヶ年とも前期より向上	5点					
	○3ヶ年のうち2ヶ年が前期より向上	3点					
	○3ヶ年のうち1ヶ年が前期より向上	2点					
○3ヶ年とも前期より向上せず	0点						
過去3ヶ年の決算状況 (赤字の有無)	収益力を評価			※計算に使用した証拠書類を提出 ※過去3ヶ年の損益計算書の経常利益で評価	定量評価	様式7	
	○赤字なし	5点					
	○3ヶ年のうち1ヶ年が赤字	3点					
	○3ヶ年のうち2ヶ年が赤字	2点					
○3ヶ年のうち3ヶ年が赤字	0点						
キャッシュフローの状況	営業キャッシュフローで評価			※計算に使用した証拠書類を提出 ※上場企業であるか否かにかかわらず、キャッシュフロー計算書を作成していれば、その内容を評価する。	定量評価	様式8	
	○営業キャッシュフローが0円超	4点					
○営業キャッシュフローが0円以下、または、上場企業でキャッシュフロー計算書を未作成	0点						
地域精通度	事業者の所在地	本店、支店、営業所等の所在地を評価		※「北摂地域内」とは、箕面市、池田市、茨木市、吹田市、摂津市、高槻市、豊中市、島本町、豊能町、能勢町の7市3町を指す。	定量評価	様式9	
		○市内に本店あり	8点				
		○市内に支店、営業所等あり	4点				
		○北摂地域内に本店、支店、営業所等あり	3点				
○北摂地域内に本店、支店、営業所等なし	0点						
市への社会貢献度	市との災害時応援協定等の締結による地域貢献の実績	災害時の応援等に係る市との災害時応援協定の締結の有無を評価		※災害時応援協定等を市と締結している事業者を評価。事業者の所属している団体が、市との協定等を締結しているときも評価の対象とする。	定量評価	様式10	
		○協定締結あり	3点				
○協定締結なし	0点						
事業者の実績・能力	事業者の同種・類似業務の実績	事業者の同種・類似業務受託実績を評価		※評価対象は令和元年度～令和5年度中の受託実績とする。 ※「同種業務」とは、複数面への映像投影、音等によるVR空間の開発業務とする。 ※「類似業務」とは、体験者がHMDや端末等を使用せず没入体験が可能な環境の開発業務とする。 ※「同規模業務」とは、2,500万円(税込)程度の業務とする。	定量評価	様式11	
		○同種かつ同規模以上の業務受託実績あり	18点				
		○同種かつ1/2以上の規模の業務受託実績あり	16点				
		○類似業務の業務受託実績あり	10点				
○上記いずれも実績なし	0点						
配置予定従事者の実績・能力	配置予定従事者の保有する資格	業務を執行する上で有効な国家資格等の有無を評価		※「有効な国家資格等」とは、応用情報処理技術者試験の合格等とする。 ※証明書、合格証等を提出	定量評価	様式12	
		○資格あり	3点				
	○資格なし	0点					
	配置予定従事者の業務実績	同種・類似業務の実績の有無を評価		※「同種業務」とは、複数面への映像投影、音等によるVR空間の開発業務とする。 ※「類似業務」とは、体験者にHMDや端末等を使用せず没入体験を提供する環境の開発業務とする。	定量評価		
		○責任者として同種業務に従事した実績あり	18点				
		○同種業務に従事していた実績あり	16点				
○類似業務に従事していた実績あり		10点					
○同種・類似業務に従事した実績なし	0点						
配置予定従事者の業務内容に関する専門知識等	同種・類似業務内容に関する専門知識等の有無を評価		※「専門知識等」とは、「有効な国家資格等」以外のITサポート、ICT支援員認定証、画像処理エンジニア検定の民間資格を保有している状況。 ※証明書、合格証等を提出	定量評価			
	○専門知識等あり	6点					
○専門知識等なし	0点						
研修体制	研修の実施	技術力向上のための研修の実施状況を評価		※事業者内社員向けの研修を記載すること。 ※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする。 ※警備業法に基づく法定研修は評価の対象としない。 ※報告書、受講修了証、レジュメ等で確認する。	定性評価	様式13	
		2点					
適正な履行確保のための研修計画	契約期間中の適正な業務履行確保のための研修計画の有無及び内容を評価		※研修対象は現場の作業従事者とする。 ※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする。 ※警備業法に基づく法定研修は評価の対象としない。	定性評価			
2点							
履行体制	適正な履行確保のための業務体制	仕様書に基づく作業計画書の作成と業務内容を評価	8点	※作業計画書と仕様書との適合性を評価する。	定性評価	様式14	
品質保証への取組	品質マネジメントに関する取組状況	品質マネジメントに関する取組状況を評価		※登録証の写しを提出 ・ISO9001(品質マネジメントシステム) ※ISOについては公益財団法人日本適合性認定協会のHPを参照 ※入札告示日現在の取得状況とする。	定量評価	様式15	
		○ISO9001の認証取得の有無	2点				
苦情処理体制	苦情処理体制の整備状況を評価		2点	※苦情処理要領(マニュアル等)の有無、内容(役割分担、報告・指示及び結果報告系統、伝達方法の明記必須)	定性評価		
地域活動への取組	事業者のボランティア活動への取組状況	ボランティア活動の実績の有無とその内容を評価	8点	※事業者として、広く地域社会のため無償で行うもの。 【活動例】 ・公共施設における活動や環境保全に関する活動等 ※活動地域は、本市の内外を問わない。	定性評価	様式16	

評価分類	評価項目	評価基準	配点	備考	定量・定性区分	様式
特許の取得	特許の取得状況	特許の取得の有無を評価		※入札告示日現在の取得状況とする。 ※特許証と特許内容が分かる書類の写しを提出 ※他社の特許を侵害していないことを証する文書を提出	定量評価	様式17
		○特許を取得済み 他社の特許を侵害していない	20点			
		○特許を未取得 他社の特許を侵害していない	0点			
実施方針等	実施方針・フロー・工程表	業務の実施方法や実施体制、工程表等を評価 ・事業の目的及び趣旨との整合性がとれているか。 ・事業が遂行可能な人員の確保がなされているか。 ・効果的な人員体制になっているか。 ・手法、日程等に無理はないか。	8点		定性評価	様式18
特定提案等	特定テーマ① VRコンテンツ制作	VRコンテンツの提案内容について評価 ・本市の魅力を理解した内容であるか。 ・高い没入感が得られるものであるか。 ・創造性又は新規性があり、技術的に優れているか。	20点	※提案書により確認	定性評価	様式19-1
	特定テーマ② 体験ブース制作	体験ブースの提案内容について評価 ・来場者が立ち寄りたくなるようなデザインであるか。 ・来場者の動線など多くの来場者への対応が考慮されたブースデザインであるか。 ・没入感を高める創意工夫のある内容であるか。	20点	※提案書により確認	定性評価	様式19-2
	特定テーマ③ 今後の活用	今後の活用を見越した高い提案であるかを評価 ・大きさ等問わず様々な空間で再現可能であるか、コンテンツの更新が容易であるかなど汎用性の高い内容であるか。	20点	※提案書により確認	定性評価	様式19-3
	特定テーマ④ その他、市にとって有益な提案	仕様書に記載以外の事項について、本市にとって有益な提案がなされているかについて評価	10点	※提案書により確認 ※提案金額内での実現が可能であること。 ※「デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYPE1）」を活用した事業であることを踏まえているか。	定性評価	様式19-4
合計			200点			